

環境チェックレポート

(1) プロジェクト名

方向性電磁鋼板製造・販売事業

(2) 実施場所

インド共和国 カルナタカ州

(3) プロジェクト概要

インドにおける方向性電磁鋼板の製造・販売事業

(4) カテゴリ分類

カテゴリ B

(5) カテゴリ分類の根拠

本事業は、環境ガイドラインに掲げる影響を及ぼしやすいセクターに該当せず、影響を及ぼしやすい特性を持たず、また影響を受けやすい地域あるいはその近傍に立地せず、環境社会への望ましくない影響は重大でないと判断されるため。

(6) 環境許認可

同国制度に基づき ESIA が作成され、2026 年 3 月に現地当局より許認可を取得済み。

(7) 汚染対策

大気質、水質、廃棄物、土壌汚染及び騒音・振動の計画値は現地基準を満たすと共に、適切な措置が講じられている旨確認されている。

(8) 自然環境面

自然環境面の影響に関して、適切な対策が講じられている旨確認されている。

(9) 社会配慮面

社会配慮面の影響に対して、適切な措置が講じられている旨確認されている。

(10) 適用国際基準

IFC パフォーマンススタンダード

(11) その他・モニタリング

上述の環境レビューを踏まえ、関連許認可の取得状況、大気質のモニタリング状況、苦情及び現地当局からの指摘事項の有無及びそれらへの対応状況等についてモニタリングを行う予定。

以 上

質問事項

質問1. プロジェクトサイトの住所を記入して下さい。

KIADB Industrial Area, Kudathini Village, District- Bellary, Karnataka

質問2. プロジェクトの概要を記入して下さい。

方向性電磁鋼板の製造・販売

質問3. プロジェクトは、新規に開始するものですか、既に実施しているものですか。

既に実施している場合、現地住民等より強い苦情や現地環境当局から改善指導や工事中止・操業停止命令等を受けたことがありますか。



新規



既往（苦情等あり）



既往（苦情等なし）



その他（

）

質問4. プロジェクトに関して、環境社会影響評価（ESIA、EIA等）はプロジェクトを実施する国の法制度上必要ですか。
必要な場合、実施または計画されていますか。

☐	要（実施済）
☒	要（実施中・計画中）
☐	不要
☐	その他（

不要の場合、質問5への回答は必要ありません。質問6に進んでください。

質問5. 環境社会影響評価が既に実施されている場合、環境社会影響評価はプロジェクトを実施する国の環境社会影響評価制度等に基づき承認を受けていますか。

承認されている場合、承認年月及び承認機関を記載して下さい。

☐	承認済み（附帯条件なし）
☐	承認済み（附帯条件あり）
☒	審査中
☐	その他（

承認年月：
承認機関：

質問6. 環境社会影響評価以外の環境に関する許認可が必要ですか。
必要な場合、取得状況及び許認可名を記載して下さい。

☐	取得済み
☒	取得必要だが未取得
☐	取得不要
☐	その他 ()

許認可名 : 1. Consent to Establish(CTE) from KSPCB 2. Consent to Operate (CFO) from KSPCB 3. Hazardous Waste Authorization from KSPCB 4. EPR Registration from CPCB.

質問7. 当行の出融資・保証承諾後に具体的なプロジェクトが特定されますか。
(例：承諾時にサブプロジェクトを特定できないツーステップローン等)

☐	Yes
☒	No

Yesの場合、以降の回答は不要です。
Noの場合、質問8に進んで下さい。

質問8. 当行の出融資・保証の対象は、国際収支支援又は特定のプロジェクトと関連のない機器等の単体輸出入やリース等、特定の地点／地域での設置や実施を伴わない製品或いはサービスの提供に該当しますか。

☐
☒

Yes

No

Yesの場合、以降の回答は不要です。

Noの場合、質問9に進んで下さい。

質問9. プロジェクトサイト内または周辺域に以下に示す「影響を受けやすい地域」がありますか。

☐
☒

Yes

No

Yesの場合、該当するものにチェックを入れてください。

Noの場合、質問10に進んで下さい。

☐

(1) 国立公園、国指定の保護対象地域

(国指定の海岸地域、湿地、少数民族・先住民族のための地域、文化遺産等)

☐

(2) 生態学的に重要な森林（原生林、熱帯の自然林を含む）

☐

(3) 生態学的に重要な生息地（珊瑚礁、マングローブ湿地、干潟を含む）

- ☐ (4) 国内法、国際条約等において保護が必要とされる貴重種の生息地
- ☐ (5) 大規模な塩類集積あるいは土壌浸食の発生する恐れのある地域
- ☐ (6) 砂漠化傾向の著しい地域
- ☐ (7) 考古学的、歴史的、文化的に固有の価値を有する地域
- ☐ (8) 少数民族あるいは先住民族、伝統的な生活様式を持つ遊牧民の人々の生活区域
(文化的、精神的な目的で使用する地域を含む)、もしくは特別な社会的価値のある地域

質問10. プロジェクトにおいて、以下に示す特性が見込まれますか。

☐ Yes
☒ No

Yesの場合、該当する特性の規模を記入して下さい。

Noの場合、質問12に進んで下さい。

- | | | |
|--------------------------|-----------------------|--|
| ☐ | (1) 非自発的住民移転又は生計手段の喪失 | (規模: <input type="text"/> 人) |
| ☐ | (2) 地下水揚水 | (規模: <input type="text"/> m ³ /year) |
| ☐ | (3) 埋立、土地造成、開墾 | (規模: <input type="text"/> ha) |
| ☐ | (4) 森林伐採 | (規模: <input type="text"/> ha) |

質問11. プロジェクトを実施する国の環境社会影響評価制度において、質問10（1）～（4）に該当する特性及びその規模が、プロジェクトの環境社会影響評価を実施する根拠になっていますか。

☒	根拠となっている
☐	根拠となっていない
☐	その他（ ）

質問12. プロジェクトは、人権を含む社会面で重大な影響を及ぼす可能性が高いですか。

☐	Yes
☒	No

Yesの場合、該当する影響を記入して下さい。

Noの場合、質問13に進んで下さい。

☐	人権への重大な影響を及ぼす可能性（ ）
☐	その他（ ）

質問13. 総プロジェクトコストに占める当行又は日本貿易保険支援割合が、5%以下又は支援額が10百万SDR相当円以下に該当しますか。

既往の同一プロジェクトへの追加支援の場合は累積額とします。

☐
☒

Yes

No

Yesの場合、以降の回答は不要です。

Noの場合、質問14に進んで下さい。

質問14. プロジェクトは、既に実施しているプロジェクトに対する増産又は拡張を伴わない設備投資或いは運転資金等に該当しますか。

（例：既存設備のメンテナンス、拡張を伴わないリハビリ、追加設備投資を伴わない権益取得）

☐
☒

Yes

No

Yesの場合、以降の回答は不要です。

Noの場合、質問15に進んで下さい。

質問15. プロジェクトは、以下に掲げる特定セクターに該当しますか。

☐

Yes

☐

No

Yesの場合、該当するものにチェックを入れてください。

Noの場合、質問16への回答は必要ありません。

- ☐ (1) 鉱山
- ☐ (2) 石油・天然ガス開発
- ☐ (3) パイプライン
- ☐ (4) 鉄鋼業（大型炉を含むもの）
- ☐ (5) 非鉄金属製錬
- ☐ (6) 石油化学（原料製造。コンビナートを含む）
- ☐ (7) 石油精製
- ☐ (8) 石油・ガス・化学物質ターミナル
- ☐ (9) 紙、パルプ
- ☐ (10) セメント（新設の採石場を含むもの）
- ☐ (11) 有害・有毒物質製造・輸送（国際条約等に規定されているもの）
- ☐ (12) 火力発電
- ☐ (13) 原子力発電
- ☐ (14) 水力発電、ダム、貯水池
- ☐ (15) 送変電・配電（大規模非自発的住民移転、大規模森林伐採、海底送電線を伴うもの）

- ☐ (16) 道路、鉄道、橋梁
- ☐ (17) 空港
- ☐ (18) 港湾
- ☐ (19) 下水・廃水処理（影響を及ぼしやすい特性を含むか、影響を受けやすい地域に立地するもの）
- ☐ (20) 廃棄物処理・処分
- ☐ (21) 農業（大規模な開墾、灌漑を伴うもの）
- ☐ (22) 林業、植林
- ☐ (23) 観光（ホテル建設等）

質問16. プロジェクトの規模（概略開発面積、施設面積、生産量、発電量等）を記入して下さい。

なお、プロジェクトを実施する国において、プロジェクト規模が大きいことを理由に環境社会影響評価が必要な場合にはその旨を記入して下さい。

- ・敷地面積: 約80.9ha (200 acres)
- ・能力: 約10万t/年
- ・上記規模のプロジェクトにより、環境影響評価が必要